

Aグループ：前回グループ作業のまとめ【担当29～42】

番号	絞った項目	絞った理由（重要と考えた理由）
29, 30	羽黒山バイパスの早期完成 (工事の進捗状況の随時公表)	<p>羽黒地域の重要課題である観光振興の一番の資源は羽黒山である。しかし、山頂へ向かう道路の幅員は狭く、また、勾配がきついことから冬季節間、車が登りにくいなどの課題を抱えている。</p> <p>山頂へのバイパスの整備は県が進めているが、未だ完成に至っていない。地域の発展のためには観光客の交流人口の増による活性化、経済効果向上を推進することが重要であり、そのためにも観光アクセス道路であるバイパスの早期完成が望まれている。</p>
38	歴史的建造物や趣ある街並みなどの観光資源を活用した振興策の検討とその保全整備	<p>羽黒地域には、手向地区には国宝五重塔をはじめ宿坊街や古刹、名刹があり、松ヶ岡地区には本陣や大蚕室による国指定史跡がある。これらは独特の風情、趣から多くの人を惹き付けており、祭礼行事なども含めた施設、環境の維持向上整備を長期的かつ計画的に推進していくことが必要である。</p> <p>さらに、こうした歴史的な街並みを保全するために地元の気運を盛り上げていくことは観光振興の観点から重要であり、積極的に進めていく必要がある。</p>

<p>34</p>	<p>案内看板等のサインの整備</p>	<p>羽黒地域の観光資源の情報発信と受け入れ体制の充実を図るためには歴史的資源である出羽三山、手向宿坊街や新たな庄内映画村オープンセットなどの観光資源を結ぶルート整備が欠かせない。</p> <p>しかし、実際には観光客が目的地につけないなど案内についての不備が指摘されている。</p> <p>このため、観光客をスムーズに目的地へ案内することで、より多くの観光客に訪れてもらえることが期待されることから、案内看板等の誘導サインの整備が重要であると考ええる。</p>
-----------	---------------------	---

グループ A

司会 : 田村 廣実
記録 : 岩城 公志
タイムキーパー : 島津 慈道
発表者 : 岡部 彌一郎

選択した3つの項目

- 羽黒山バイパスの早期完成（工事の進捗状況の随時公表）（29, 30）
- 歴史的建造物や趣ある街並みなどの観光資源を活用した振興策の検討とその保全整備（38）
- 案内看板等のサインの整備（34）

話し合いの内容（項目評価と市民・行政それぞれの立場で何故できなかったか）

- ・ 観光振興として国宝五重塔、重要文化財黄金堂などの歴史上価値ある構造物や周辺の門前町手向の歴史的街並み、祭礼行事などの環境維持向上整備は重要度が高い。
- ・ 整備事業には地元の気運の盛り上がりがかかせない。
- ・ 整備に関して宿坊街区域の住民と観光協会などのまちづくりの推進団体とでは意識に違いがある。
- ・ 景観の維持のための修景整備は地元住民にとっての必要性から見ると改築費の負担などがあり実効性や熟度が低い。
- ・ 出羽三山の山岳信仰と宿坊構中システムを時代に合わせたシステム構築は重要と思うが、そこに踏み込むには関係機関との調整が必要だで緊急性は高くない。
- ・ 映画村のオープンセットから国道112号とを結ぶ中山間道路の整備は観光振興からも必要であると考える。
- ・ 水ばしょうの丘構想が中断しており、アクセス動の整備も緊急度は低く重要度も今すぐ必要とは感じられない。
- ・ 出羽三山観光振興のため、羽黒山へ通じる道が冬季間車が登れないということは大変なことであり早期に解決を図るべき。12/31と2/10は車が立ち往生していた。
- ・ 羽黒地域への公共事業の事業が多く羽黒バイパス整備の優先度が低かったのではないか。
- ・ バイパスの整備については観光を除くと市民の生活に直接の影響が少ないので県への要望活動等が低調だったのではないか。
- ・ バイパス整備について地元要望活動の強化を図るため工事の進捗状況の情報提

供を求めていくことが重要と考える。

- ・ 県のバイパス整備予算の配分が少なく、そのために整備が遅れている。
- ・ 映画村オープンセットへ向かう観光者や訪問客などから道を訪ねられる。
- ・ 羽黒地域の観光資源の情報発信と受け入れ体制の充実を図るためには歴史的資源である出羽三山、手向宿坊街や新たな庄内映画村オープンセットなどの観光資源を結ぶルート整備が重要である。
- ・ 観光客を目的地へ案内する看板等の誘導サイン整備を進め、観光による交流人口の増加推進をし、羽黒地域の活性化と経済効果向上を図ることが必要と考える。
- ・ 看板などの案内の不備だろうか。映画村までたどり着けない人が多いと聞く。
- ・ 山岳道路を整備するよりも既存の道路を拡張していく方が現実的だ。
- ・ 松ヶ岡開墾場については、市長も重要施策としてシルクや松ヶ岡の歴史を後世に伝え残すことが大事と言っており、鶴岡の観光資源としての整備について検討が必要と思う。
- ・ 松ヶ岡開墾場は、そこで事業を行っている松ヶ岡物産(株)、松ヶ岡産業(株)、致道博物館などが中心になって地元の歴史文化資産として活用や整備を計画していくことが必要であり、それに対して支援を行っていくべき。
- ・ 松ヶ岡開墾場の魅力を高めるための学習や情報の発信となる新たな拠点施設の整備は、羽黒地域の観光振興にとって重要であり実施に向けた検討を推進すべき。
- ・ 松ヶ岡の新たな拠点施設整備は、それに向けた地元の気運の盛り上がりもあるが緊急度は中程度くらいと思う。

更なるステップアップを目指して1のマツピング

重要度：高

(朝サレ) 根
 予算が足りない
 → 生台影響
 余裕がない

グループ A

29	羽黒山ハイパスの早期完成
30	工事の進捗状況の随時公表
34	案内看板等のサインの整備

28 → 1
 30 → 1

33	庄内映画村オープンセットへのアクセス道路の全線拡幅
41	松ヶ岡開墾場大畜舎の保存補修事業の推進

根拠の要望
 が弱った(何故)
 → 若台の影響が大きい
 地元要望が色々と
 作
 ト / 仕組み

32 → 3

根拠予算が少なくて
 と申している。
 お金!

「根拠」は地域の
 経済界の「根拠」が
 多た(根拠が)
 仕組み(仕組み)

「根拠」は「策」
 出来の(仕組み)は
 お金 / 仕組み

「根拠」は「策」
 と「策」部との
 仕組み(仕組み)

28 → 2

42	松ヶ岡開墾場の魅力を高めるための、学習・情報発信拠点建設の整備
----	---------------------------------

36	商店街の無電柱化の推進
37	商店街の景観を阻害するシャッターや車庫の増設、各種看板の整理等、沿道の景観整備
38	歴史的建造物や歴史的街並みなどの観光資源を活用した、観光客の誘引とその滞在促進
39	秋の頃に人跡する山伏道所や花見の経路、道中で訪れる白根集の温泉を山伏が来るとして、観光客の誘引

Bグループ：前回グループ作業のまとめ【担当43～56】

番号	絞った項目	絞った理由(重要と考えた理由)
<p>44, 45, 46 48, 49, 50, 51, 56</p>	<p>観光地の連携と周遊ルートの整備</p>	<p>出羽三山は地域を代表する観光地として長い歴史があり、羽黒山には年間50万人の観光客が訪れ、月山については近年のトレッキングブームにより特に弥陀ヶ原の観光客が増加している。</p> <p>また、羽黒地域には出羽三山や庄内映画村オープンセット、松ヶ岡や玉川寺、月山高原など多くの観光資源があり、特に庄内映画村オープンセットにはこれまでにない新たな観光客が多く訪れている。</p> <p>しかし、映画村と出羽三山などの既存の観光地では、お互いに観光客を取り組めるような施策がとられていない。</p> <p>このため、観光地を線で結び、面で連携させていくことができれば、観光客の滞在時間も延び観光地としての経済効果が高まることが期待できることから、これら観光地の連携と周遊ルートの整備が重要であると考える。</p>

<p>43, 53</p>	<p>南部農道沿道など新たなテーマ別観光ルートの整備と情報発信</p>	<p>羽黒街道の南側の主に中山間地域を通る南部農道は、沿道に松ヶ岡の蚕室やギャラリー、今井美術館、玉川寺の庭園、手向の自坊小路などがあり、最近は癒しを求めている観光が増えているといわれている。しかし、これらを癒しやアートといったテーマでまわる観光ルートや、さらに創造の森、月山高原牧場、月山ハーモニーパーク、月山ビジターセンター、休暇村はぐろなどといった範囲を、半日、1日かけて楽しむコースや観光ルートが整備されていない。</p> <p>このため、出羽三山や映画村を訪れる観光客にこれらのルートを「次の観光コース」として整備、情報を発信することができれば、より羽黒地域に滞在する時間が増え、地域の活性化につながることを期待できることから、南部農道沿道など新たなテーマ別観光ルートの整備と情報発信が重要であると考える。</p>
<p>45, 54, 55</p>	<p>月山を取り巻く周辺観光の連携</p>	<p>月山とその周辺には多種多様で魅力的な資源が多くあり、月山に登る観光客は羽黒地域からだけでなく、西川町からも多く、近年のトレッキングブーム、出羽商工会の八方十口プロジェクトなどをもって、周辺の市町村からの登山客も増化している状況にある。</p> <p>しかし、月山登山やその魅力についての情報発信は、それぞれの市町村や観光協会などで行われ、連携したわかりやすい情報発信がされておらず、また、月山周辺の既存施設やイベントを組み込んだ広域の周遊ルートや観光メニューも整備されていない。</p>

		<p>このため、関係町村での連携を強化し八方十口プロジェクトのよ うな事業を活発化させることで月山に何度も訪れてもらえるよ うになることが期待できるところから、月山を取り巻く周辺市町 村等の受け入れ体制の連携と強化が重要であると考える。</p>
--	--	--

グループB

司会 : 山田 鉄哉
記録 : 榎本 光男
タイムキーパー : 本間 信一
発表者 : 佐藤 潤到

選択した3つの項目

- 観光地の連携と周遊ルートの整備
(44, 45, 46, 48, 49, 50, 51, 56)
- 南部農道沿道など新たなテーマ別観光ルートの整備と情報発信 (43, 53)
- 月山を取り巻く周辺観光の連携 (45, 54, 55)

話し合いの内容 (項目評価と市民・行政それぞれの立場で何故できなかったか)

- ・羽黒地域には出羽三山や庄内映画村オープンセット、松ヶ岡や玉川寺、月山高原など多くの観光資源があり、特に庄内映画村オープンセットにはこれまでにない新たな観光客が多く訪れていることから、映画村と出羽三山などの既存の観光地とがお互いに観光客を取り組めるような施策を早急に整備する必要がある。
- ・出羽三山は地域を代表する観光地として長い歴史があり、羽黒山の観光客は年々減少しているものの50万人を越え、月山については近年のトレッキングブームにより特に弥陀ヶ原の観光客が増加している。
- ・観光客を映画村オープンセットに、また、映画村の観光客を出羽三山などにお互いに取り込むことが喫緊の課題となっている。
- ・映画村オープンセットの近隣には月山高原があり、近年は月山高原が月山への主要ルートとなっていることから、月山高原を舞台に庄内映画村オープンセットと月山高原牧場やひまわり畑を組み合わせた観光メニューや案内板、月山や羽黒山を組み合わせた観光メニューなどを整備する必要がある。
- ・羽黒地域には他にも多くの観光資源があるものの、地域によって観光に対する考えの違いがあり、自分たちの住んでいる所が素晴らしい観光地であるといった実感がなく、また、古い建物や景観等は観光資源として見るのは良いが、そこに住んで残していくのは大変で、どちらかという苦情ばかりといった所も見受けられる。
- ・学区を越えた地域間での交流がないことや、他所のことに口出ししない気質もあることから、これまでは市民同士の連携や草の根の交流がほとんど行われてこなかった。
- ・他の良いところを認め合う、又自分達の住んでいる所の良さを再認識してい

くことが大事だ。

- ・鶴岡市全体となれば、市町村合併して8年経過したものの、地域間の交流は少なく、市の観光行政も横の連携を取ってこなかったため、広域的な観光ルートの整備はほとんど行われていない。
- ・地域間の交流を推進し、特に観光行政の面においては、横の連携を強化する。また、草の根レベルでの交流も推進し、重層的に進めていくことが必要。
- ・羽黒の中でも地域で温度差がある。特に観光意識では手向で高いが、広瀬、泉では農業という伝統があるからだと思う。
- ・合併して1つになるには時間がかかるといわれるが、観光客の満足度や滞在時間を増大させるには、羽黒地域だけでなく鶴岡市全体のスケールメリットを生かした観光ルートをテーマ別に整備する必要がある。また、観光客に羽黒や鶴岡のファンになってもらい、リピーターとしてまた訪れてもらうためには、体験交流などを通じた親戚づきあいのような濃密な観光メニューも必要である。
- ・合併の効果を促進するにはどうしたらよいか。広域的な取組みが効果をあらわしていくのではないか。
- ・リピーターを増やすには地元のおもてなしの意識を高めていく必要を感じる。
- ・観光地を線で結び、観光網すなわち面で連携させてできるだけ観光客の滞在時間、滞留の時間を長くすることでの経済効果に期待する。
- ・羽黒街道の南側の主に中山間地域を通る南部農道は、沿道に松ヶ岡や今井繁三郎美術收藏館、玉川寺などがあり、手向バイパスから宿坊街につながっている。
- ・最近癒しを求めての観光が増えているといわれており、松ヶ岡の蚕室やギャラリー、今井美術館、玉川寺の庭園や抹茶、手向の自坊小路など、癒しやアートをテーマとした観光ルートを整備することで、新たな誘客が期待できる。
- ・出羽三山観光と対比、区別して松ヶ岡、今井美術館、玉川寺、映画村、月山高原牧場などの魅力を取り上げて、1日、半日などのコースを設定して観光ルートを整備したらどうか。
- ・出羽三山や映画村を訪れる観光客の次の観光コースとして整備し情報発信することで、羽黒地域に滞在する時間が増え地域の活性化につなげることができる。
- ・南部農道から少し外れるが、創造の森や月山高原牧場と月山ハーモニーパーク、月山ビジターセンター、休暇村はぐろなどは、自然や子育てをテーマとした観光ルートの整備などが考えられる。
- ・既存のテーマ別の観光ルートとしては、月山の自然をテーマにした月山ビジ

ターセンターと月山弥陀ヶ原などの植生、荘内藩の歴史をテーマにした松ヶ岡と致道博物館や鶴岡公園周辺施設、出羽三山の山岳信仰による観光ルートなどが挙げられるが、これらの観光ルートについては、観光メニューの強化とルートの拡大が必要である。

- ・出羽三山観光で月山に登る観光客は羽黒地域からだけでなく、西川町からも多くあり、また、出羽商工会の八方十口プロジェクトなどにより、周辺の市町村からの登山客も増えてきている。
- ・月山の観光客の様々なニーズに対応するとともに、それぞれの地域で経済効果を生み出すには、周辺の市町村や観光協会などが連携したわかりやすい情報発信が必要であり、月山周辺の既存施設やイベントを組み込んだ広域の周遊ルートや観光メニューが必要。
- ・広域での観光ルートの整備にあたり、県の協力を仰ぎ施策に取り込んでもらうことで、市町村間の調整がより図られるとともに情報の発信が強化される。
- ・近年のトレッキングブームを背景にした月山とその周辺には多種多様で魅力的な資源が多くある。これらをさまざまな観点からルートとして開発しメニュー整備を行う。この際、個々人のニーズに合わせた楽しみ方を提案、選択できるようにしたら良い。
- ・月山には何度も訪れてもらえるよう関係町村での連携を強化し、八方十口プロジェクトのような事業を活発化させるべき。

重要度：高

グループ B

緊急度

④ 甲府道路で給ふ
観光地の連携

古い物と残すのは見エリ
良いが、住む人け大変

46 出羽三山や庄内映画村オープンセットを訪れる観光客を、お互いに取り込めるような施策の実施

53 画しやアートをテーマにした美術館・蔵書館・玉川寺などの整備と情報発信

50 「見たい・知りたい」マ別の観光コースやマ別の整備

観光地の連携
と同様に整備
(新田坂)

45 月山高原を舞台として、庄内映画村オープンセットと月山高原牧場・ひまわり畑等を組み合わせた観光メニューや案内板の整備

44 庄内映画村や観光地を結ぶ観光固遊ルートの整備

47 映画撮影や誘致への支援
観光地を結ぶ観光固遊ルートの整備

43 松ヶ岡開墾場の魅力を高めるための、松ヶ岡開墾場の環境整備

49 観光地を線で結び広く地域が連携した観光振興の推進

54 出羽三山を訪れる旅行者(特に月山)に対して、月山を取り巻く地域の行政や観光協会等が連携した観光振興の推進

48 既存の観光施設とイベント等を組み合わせる観光固遊ルートの整備

⑤ 月山を取り巻く
周辺の観光連携

⑥ 八重桜 (遠月山)

52 八重桜の名所である蛸巻館公園を、季節を通して楽しむための整備と、遊具の更新

52 八重桜の名所である蛸巻館公園を、季節を通して楽しむための整備と、遊具の更新

Cグループ：前回グループ作業のまとめ【担当15～28】

番号	絞った項目	絞った理由(重要と考えた理由)
15	より多くの観光客の受入と地域経済を活性化する仕組みの整備と担い手の育成	<p>地域活性化のためには、より多くの観光客を受け入れていく必要があるが、地域としてこれらに対すもてなしの心ややさしさといったことが欠けているのではないかとの指摘がある。</p> <p>また、羽黒山には海外からも多くの観光客が来ておりこうした点に着目し、外国人観光客が増えるような工夫の仕組みも指摘されている。</p> <p>このため、地域をあげてこうした取り組みができるよう、組織、担い手を作っていくことが重要と考える。</p>
27	観光地として、訪れる人にとってわかりやすい案内板の整備と道路整備	<p>羽黒地域には国道・県道・市道があり、それぞれの道路管理者や観光協会等が案内板を設置している。しかし、これらは設置年度もばらばらなため、目的的地表示やそこに至るルート案内の統一性がとれず、観光客にもわかりにくいものが見受けられる。また、羽黒山頂に容易に向かうことのできる羽黒山バイパスも工事の完成が遅れている。</p> <p>看板の表記内容や観光地への誘導ルートを容易にすることで、羽黒地域への観光客の増化が期待できることから、観光に訪れる人にとってわかり易い案内板の整備と道路の整備が重要と考える。</p>
28	月山公園線拡幅整備に関する課題の検討・調整、国や県に対する要望活動の強化	<p>月山には年間20万人前後の観光客が訪れ、特に7月～8月は「講」やツア一登山客を乗せた大型バスが行き交う。しかし、八合日に続く県道月山公園線は、所々車一台がやと通れる幅員しかなく、すれ違いが困難なため、普通乗用車も含めた交通渋滞がしばしば見られるなど円滑で安全な通行が確保されていない。このため、快適で安全な観光道路に整備することにより、月山の魅力を多くの人たちにPRができるようになり、観光客の増加に結び付くことが期待できることから月山公園線拡幅整備に関する課題の検討・調整、国や県に対する要望活動の強化が重要と考える。</p>

<p>19</p>	<p>オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの宿泊分離等、年間を通じた様々な取組の実施</p>	<p>羽黒地域は雪国であることから、スキー場はあるものの夏の観光シーズンに比べ冬期間は観光客が減少する傾向にある。羽黒地域にはオフシーズンにおいて地域の魅力を伝えるイベントが少なく、また、せつかくの農業地域でありながら農業体験を生かしたり、オフシーズンの宿坊を活用したりなどの連携が取られていない。このため、通年型観光が行えるよう農業と観光を結び付けて地域の新たな魅力を創造しPRしていくことが求められており、オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの宿泊分離等、年間を通じた様々な取組の実施が重要であると考える。</p>
-----------	--	---

17 祭りやイベントのPRに合わせた宿泊情報の随時発信

15 より多くの観光客の受け入れと、地域経済を活性化
する仕組みの整備と担い手の育成

21 「ゆほか」のサービス向上のため、競争力強化に向けた取組みの実施

22 専門的な観光ガイドの養成

26 外国語を話せる観光ガイドの養成

25 羽黒地域の歴史や文化、観光案内等の講習会の開催

24 羽黒地域の歴史や文化、観光案内等の子キスト作成・配布

28 月山公園幅員整備に関する課題の検討・調整、
国や県に対する要望活動の強化

27 観光地として、訪れる人にとってわかりやすい案内
板の整備と道路整備

19 オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムで
の宿泊分離等、年間を通じた様々な取組みの実施

15 橋のつばねがばい

15 住民の意識が
違う(地域性)

15 後継者不足(敵
して来はか(=)

27 2400人への
27 対応が速い
15 いた
27 維持管理が可
か(行政)

27 観光客に対して
セシはが7から
27 3000円程度と
27 予算が(行政)

羽黒への観光客への
配慮の心、
27

グループC

司会 : 高橋 親孝
記録 : 星野 博
タイムキーパー : 高田 志郎
発表者 : 小南 孝子

選択した3つの項目

- より多くの観光客の受入と地域経済を活性化する仕組みの整備と担い手の育成 (15)
- 観光地として、訪れる人にとってわかりやすい案内板の整備と道路整備 (27)
 - ・月山公園線拡幅整備に関する課題の検討・調整、国や県に対する要望活動の強化 (28)
- オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの宿泊分離等、年間を通じた様々な取組みの実施 (19)

話し合いの内容 (項目評価と市民・行政それぞれの立場で何故できなかったか)

- ・ 出羽三山の主峰「月山」は国の天然記念物にも指定されており、年間 20 万人前後の観光客が訪れている。
- ・ 7月～8月は「講」の方々やツアー登山客を乗せた大型バスが行き交うが、八合目に続く県道月山公園線は、所々車一台がやっと通れる幅員しかなく、すれ違いが困難なため、普通乗用車も含めた交通渋滞がしばしば見られる。
- ・ 6合目から先では交通規制が行われることもあり、円滑で安全な通行が確保されない状況にある。
- ・ 昔は大型バスで来る観光客がほとんどだったが、最近はマイカーで来る人も多く、案内板の必要性は高く欠かせない状況にあるが、これらの人への対応が遅れていた。
- ・ 快適で安全な観光道路を整備することにより、月山の魅力を多くの人たちにPRして、観光客の増加に結び付けることができる。
- ・ 羽黒地域には国道・県道・市道があり、それぞれの道路管理者や観光協会等が案内板を設置している。
- ・ 看板の設置年代はばらばらなため、目的地表示やそこに至るルート案内の統一性がとれておらず、観光客にもわかりにくいものが見受けられる。
- ・ 表記内容や観光地への誘導ルートを統一することにより、目的地とする観光地・観光施設等へ円滑に到達できるよう支援を行い、羽黒山バイパスの整備とあわせて、羽黒地域への観光客の増加に結びつけ、広域観光ルートの確立

- を図ることができる。
- ・ 羽黒地域は雪国であることから、どうしても冬期間は観光客が減少する傾向にある。
 - ・ オフシーズンにおいても地域の観光資源の新たな魅力を伝えるイベントを開催することで、通年型観光に結び付けていくきっかけづくりができる。
 - ・ 羽黒地域は農村地域でもあることから、日中は農業体験、宿泊は宿坊というような連携が取れば、羽黒の歴史や自然に親しむ機会が増え、農業と観光の両面から羽黒地域を観光客にPRすることができる。
 - ・ 行楽シーズン以外にも観光客を呼べるイベントや受入体制をつくっていくことが大事。
 - ・ オフシーズンにはさまざまな体験などが考えられるが、そもそも受入のメニューが不足している。
 - ・ オフシーズンの対応について観光資源を上手に使っていないのではないか。
 - ・ 海外からの観光客に着目し、もっと外国人のお客さんが増えるように工夫が必要と思う。
 - ・ より多くの観光客を受け入れるための仕組みや担い手の必要は感じていてもそれぞれの組織など横の連携、繋がりがいいことで十分に機能していないのではないか。
 - ・ 観光に関しての受入などの連携がうまく機能しないのは、それぞれの地域で住民性が違うためではないか。
 - ・ 観光客を受け入れるため、地域をあげた取組みや後継者の育成などは不足している。
 - ・ 観光で羽黒に来るのはあたりまえという意識がどこかにあり、観光客に対しての優しさが足りなかったのではないか。
 - ・ 地域をあげて観光客へのもてなしの心、やさしさを持つべき。
 - ・ 案内看板、道路などは維持管理にお金がかかり難しい。
 - ・ 市の道路整備や看板整備の予算が足りない。
 - ・ 行政側が観光客について考えてない気がする。
 - ・ 食事処、土産屋いいが、まずはお客さんを呼ぶことが大切だと思う。
 - ・ イベント、祭りがあっても何処に泊まればよいかわからない。宿泊情報の発信がもっと必要と思う。
 - ・ 若い世代の宿坊を活用したメニューづくりが活発になってほしい。また、それを支援してゆくべきだ。
 - ・ 精進料理などの取組みは将来性があると思う。是非頑張ってもらいたい。
 - ・ ゆぽかの経営などをこれからどう考えていくかは難しい問題だと思うが、緊急に何かをしていく必要はあると考える。

- ・ 観光ガイドについては、説明を聞いて面白かったり、得をしたと思えるような内容であることが大事だと思う。ただ通り過ぎられないよう、何かあるなと立ち止まって聞いてもらえるようなことが大事だと思う。
- ・ 接客の心得を学ぶ学習機会は観光事業者だけでなく、町民全体が日ごろからおもてなしの心を築けるようにすべきではないか。

Dグループ：前回グループ作業のまとめ【担当1～14】

番号	絞った項目	絞った理由(重要と考えた理由)
12	羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施	観光振興は羽黒地域の活性にとって大事なことであるが、観光に直接関係する関係者以外の住民の観光に対する意識は必ずしも高いといえない。また、関係者においても厳しい現状の認識が不足しているとの指摘もある。観光の振興は、交流人口の拡大につながり、また、様々な分野で地域経済への影響、波及効果が大いである。このため、観光への取り組みを観光地だけのことと限定的にとらえるのではなく、地域全体で関わりを持ち意識を高めていくことが重要と考える。
13	羽黒地域の資源を活かした観光メモリーの整備	手向地域では、地元の食材を活かした新たな観光メモリーとして「精進料理」などが注目を集め、また、松ヶ岡では「シルク」をキーワードにした体験メモリーなど着地型観光に着目した取り組みが検討されている。 こうした地域の資源を活かした観光メモリーは、まだ緒についたばかりであるものの、新たな誘客の掘り起こしが期待されている。 このため、こうした事業を育て、また新たなメモリーを開発していく体制の整備や取り組みを行っていくことが重要と考える。
14	羽黒地域の資源を活かした観光ルートの整備	羽黒地域には、新たな観光施設となっている「庄内映画村オープンセット」や精進料理などの食を提供する「宿坊」、「シルク」に関連した体験メモリーなど提供する「松ヶ岡開墾場」など羽黒山の歴史的建造物のほか、地域資源を生かした魅力ある観光メモリーが豊富にある。 しかし、せっかくのこうした地域資源を生かした魅力ある観光ルートの開発を具体的に提案できず、取り組みが欠けているとの指摘があり、このため、ルートを具体的に提案できる仕組みづくりや従来の観光ルートに加え、新たな観光ルートを創出し、魅力を高めていくことが重要と考える。

グループD

司会 : 土岐 由紀
記録 : 山田 勝実
タイムキーパー : 阿部 良一
発表者 : 山口 弘男

選択した3つの項目

- 羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施 (1 2)
- 羽黒地域の資源を活かした観光メニューの整備 (1 3)
- 羽黒地域の資源を活かした観光ルートの整備 (1 4)

話し合いの内容(項目評価と市民・行政それぞれの立場で何故できなかったか)

- ・ 観光商工室がいでは文化記念館に移動したため、羽黒町観光協会との連携が強化され、円滑な事業運営が可能となっていると思う。
- ・ 松ヶ岡開墾場の蚕室は年次計画的な保存修理を実施されている。また、歴史的風致維持向上計画や松ヶ岡地域振興ビジョンが策定中であり、時間をかけて検討していくことが必要と思う。
- ・ 案内看板については、観光客の目に付きやすい位置に設置したり動線に配慮したりしながら必要な案内板を整備していく必要があると思う。羽黒山バイパスの完成にあわせ案内看板の整備検討はもちろん古くなった看板は早期に取り替えていく必要がある。
- ・ 観光関係者のスキルアップの観点からHP関連の講習会は必要だが、これまでの行政主体のHPの講習会が効果的だったのか。効果を確認しながら今後のやり方を検討するべきでないか。
- ・ グリーンツーリズムについて、修学旅行の民泊や農業者グループ、個人での農業体験や遊休農地を活用したひまわり畑の観光地化など新たな取組みもあるのでこれらを体系化していく必要である。
- ・ 羽黒地域全体で観光に関わっていくためには、農家、宿坊、休暇村羽黒及び観光事業者等が連携したグリーンツーリズムの推進体制を構築していく必要がある。
- ・ 地域資源を生かした観光メニューとして「精進料理」などの食や「シルク」をキーワードにした体験メニューなどが考えられるのではないかと。また、こうした地域資源を生かした魅力ある観光ルートの開発を具体的に提案できる仕組みづくりが必要なのではないか。
- ・ 様々な取組みをじわっと行い景気回復を図っていきながら、宿坊や旅館などの観光関係者が潤う仕組みが大事。

- ・ 観光に関する予算が少ないのではないか。
- ・ 羽黒の観光は、地域活性化の一大要因であるのに PR やアピールが不足していると思う。
- ・ ガイドなどの案内が知識不足だったりする。人づくりが弱かったのではないか。
- ・ 地域が主役のとなる地域型観光についてもっと取組みを進めていくべきと思う。
- ・ 羽黒の観光に関わる人達の意識の中に過去の栄光にすがっているため、困っていないという感覚がある。
- ・ 全体を引いていくリーダーがいらないと思う。
- ・ 観光振興の必要性について、自分には関係のないことと決め付けている住民の意識が課題であり、こうしたところを変えていかないといけない。
- ・ 住んでみたいと思えるまちづくりをしてこなかった。
- ・ 羽黒地域の子供たちの教育に出羽三山の歴史をもっととりあげるべき。
- ・ 民間企業や団体、学校などの連携による取組みが不足していたと思う。

更なるステップアップを目指して」のマッピング

重要度：高

グループ

6 月山ビジターセンター付近の観光情報を発信するための観光案内所及び案内板の設置

5 観光案内所を明確にし、重要で案内できる休憩やトイレ、案内板の観光地と食事所等を掲載した案内板を準備

12 羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施

13 羽黒地域の資源を活かした観光メニューの整備

14 羽黒地域の資源を活かした観光ルートの整備

羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施
 月山ビジターセンター
 案内板の設置
 観光案内所を明確にし、重要で案内できる休憩やトイレ、案内板の観光地と食事所等を掲載した案内板を準備

金
 羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施

月山ビジターセンター
 案内板の設置
 観光案内所を明確にし、重要で案内できる休憩やトイレ、案内板の観光地と食事所等を掲載した案内板を準備

緊急度

2 松ヶ岡調整場

羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施

月山ビジターセンター

Aグループ：具体的方策に向けた作業シート

番号	絞った項目	官の役割	民の役割	協働のできること	実施に向けて
29	羽黒山バイパスの早期完成				いつまでに： だれが： どのように：
30					
38	歴史的建造物や趣ある街並みなどの観光資源を活用した振興策の検討とその保全整備				いつまでに： だれが： どのように：
34	案内看板等のサインの整備				いつまでに： だれが： どのように：

Bグループ：具体的方策に向けた作業シート

番号	絞った項目	官の役割	民の役割	協働のできること	実施に向けて
44 45 46 48 49 50 51 56	観光地の連携と周遊ルートの整備				いつまでに： だれが： どのように：
43 53	南部農道沿道など新たなテーマ別観光ルートの整備と情報発信				いつまでに： だれが： どのように：
54	月山を取り巻く周辺観光の連携				いつまでに： だれが： どのように：

Cグループ：具体的方策に向けた作業シート

番号	絞った項目	官の役割	民の役割	協働のできること	実施に向けて
15	より多くの観光客の受入と地域経済を活性化する仕組みの整備と担い手の育成				いつまでに： だれが： どのように：
27	観光地として、訪れる人にとってわかりやすい案内板の整備と道路整備				いつまでに： だれが： どのように：
28	月山公園線拡幅整備に関する課題の検討・調整、国や県に対する要望活動の強化				いつまでに： だれが： どのように：
19	オフシーズンのイベント開催やグリーンツーリズムでの宿泊分離等、年間を通じた様々な取り組みの実施				いつまでに： だれが： どのように：

Dグループ：具体的方策に向けた作業シート

番号	絞った項目	官の役割	民の役割	協働のできること	実施に向けて
12	羽黒地域全体で観光に関わっていく方策の検討と実施				いつまでに： だれが： どのように：
13	羽黒地域の資源を活かした観光メモリーの整備				いつまでに： だれが： どのように：
14	羽黒地域の資源を活かした観光ルート整備				いつまでに： だれが： どのように：